

早くも1月の最終週となりました。今週はマラソン週間ということで、中休みにそれぞれのペースに合わせて10分間、校庭を走って寒さに負けない体力づくりをしようという企画です。残念ながら初日の月曜日は実施できたのですが、昨日は雨で中止、本日も雨上がりの校庭コンディションが悪く中止となってしまいました。



マラソン週間

第1回目の月曜日には、遅い(超がつくほど)ペースでしたが、私も参加しました。次々に子どもたちや職員に抜かされていきましたが、それでも止まることなくまた、歩くことなく(実際には歩いたほうが速いくらいかもしれませんが)10分間を走り切りました。

走っていると、抜き去っていく子どもたちや、見学している子どもたちから「がんばって!」という声をもらいました。また「校長先生も走るの?」という驚きに似た声も。のろのろと(よたよたかもしれません)息もあがりながら走っていた私でしたが、こうした声が次の一歩を踏み出す原動力になることを改めて体感しました。まさに「応援や声援は力になる」を身をもって感じました。

学びにおいても、学校生活においてもまた、家庭生活や地域での暮らしにおいても同じことがいえるのではないのでしょうか。子どもたちへの応援や声援はきっと子どもたちの力となっていくはずです。もちろんプレッシャーとなってはいけませんが、「頑張れ」ではなく「顔晴れ」の気持ちで、私も本校の教職員も、子どもたちを応援・声援していきたいと思えます。